

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	公民	科目	地理B	単位数	3	学年	3	コース	教養フロンティア
								必修・選択	選択 (B・F群)
使用教材	教科書	「新詳地理B」帝国書院 「新詳高等地図」帝国書院 (1年次地理Aにて使用のもの)							
	副教材	「フォトグラフィア地理図説」東京法令出版 (1年次地理Aにて使用のもの) 「新 地理要点ノート」啓隆社							

学習目標

民族や生活といった異文化理解と国際人としての教養を身に付けることを目標とする。また、異文化を理解するために、世界の人々における物の見方・考え方・価値観に違いがあることを理解し、共生意識を養えるようにすることを目的とする。

学習方法

- ・授業プリントや板書ノートを活用した基本的知識の取得。
- ・地図や資料、統計図から地理的情報を読み取り、多面的・多角的に考察する資料読解。
- ・既存知識や資料活用スキルを活かしたレポート作成。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。	
①関心・意欲・態度	・地理的諸事象、ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができる。 ・地理学習で得た知識・技能・態度を現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。
②思考・判断・表現	・地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し、そこから地理的概念や規則性(地理的見方・考え方)を見いだすことができる。 ・地理的概念や規則性をもとに、現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について考察し、把握することができる。
③技能	・学習に必要とされる様々な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。 ・文献や統計の分析、野外における諸事象の観察から、地理情報を見出し、それを的確に地図化することができる。
④知識・理解	・地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色、諸課題について多角的・多面的に理解を深めることができる。 ・必要とされる基礎的知識や基本的概念(空間・環境・地域)、地理的見方・考え方を身につけている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				
ワークシート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了時
定期考査		○	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・毎時間の学習の目的を理解し、これまでに学習してきた内容とどのように関連するのか整理してみることを意識して取り組むこと。
- ・常に世界の情勢に関心に向け、最新のニュースや出来事に関して様々なメディアを通して情報を収集しておくことをおすすめします。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 33単位時間	第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2章 資源と産業	多様な自然環境や社会環境のうえに成り立っている私たちの生活が、自然環境や社会環境の特徴を反映して多様であることを理解し、現代世界の地理的諸課題について考察していく。	【評価方法】 単元終了後に行う自己評価、小テスト 学習シート レポート 定期考査
2 学期 45単位時間	第II部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教 第III部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	人口、生活文化、民族など項目別に、規則性や傾向、それらの要因などを系統地理的に考察していき、諸課題の対策や持続可能な社会の実現について考える。	
3 学期 27単位時間	第III部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 3章 現代世界と日本	また、それらを視点を変えて地域的な枠組みから、変容や構造について歴史的背景を踏まえて、多面的・多角的に考察していく。	